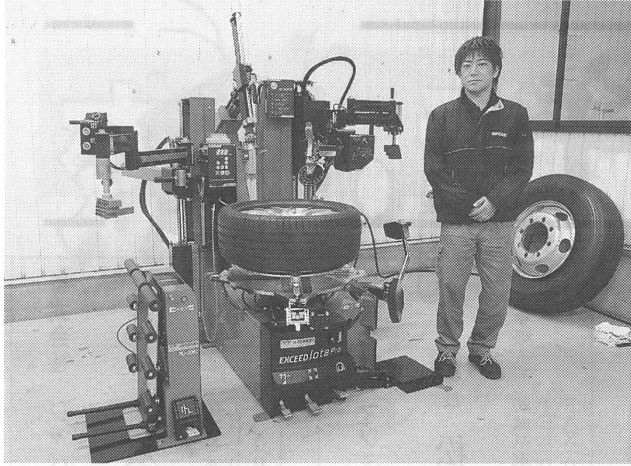


小野谷機工の新型タイヤチェンジャー

EXCEED Iota Pro



EXCEED Iota Proと吉川真仁氏

小野谷機工はこのほど、乗用車用タイヤチェンジャー「EXCEED」(エクシード)シリーズの最新モデルIota Pro(イオタ プロ)を本紙に公開した。レバーレス作業をほぼボタン操作のみで行えるセミオート化を実現した。同社商品開発本部の吉川真仁氏に新商品の特徴を聞いた。

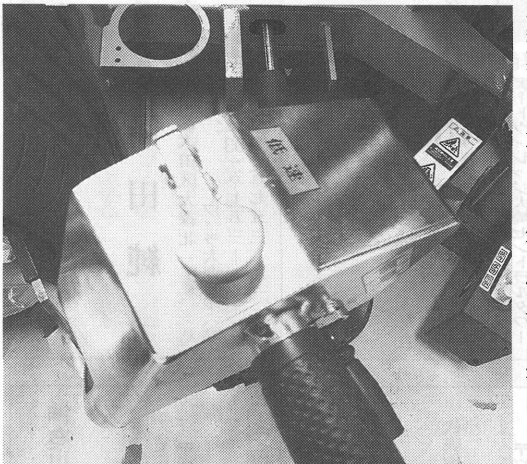
新商品「EXCEED」は、小野谷機工がこだわった安心簡単な作業、軽労化を上側ビード外しをほぼ自動化(セミオート)したことで、難しい高偏平タイヤ作業を楽に行える画期的な仕上がりになっている。腰を少しかがめないし、腰を少しかがめない程度でOK。格段に作業しやすい。

一つは、ビードブレーカーをペダル踏み方式から手で操作できるハンド式にしたこと。

「現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいきます。大径タイヤのビードブレークを行う際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりますし、タイヤの倒れこみも生じる恐れがあります。」

そして、もうひとつ工夫がなされているのが低速ボタンのこと。ビードブレイク作業を行う際、ブレーク(刃先)が勢いよく刺さることで、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーク時の反動も少なく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレークしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-80 SL)を使えば、この作



手元操作でビードブレークが簡単

「現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいきます。大径タイヤのビードブレークを行う際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりますし、タイヤの倒れこみも生じる恐れがあります。」

そして、もうひとつ工夫がなされているのが低速ボタンのこと。ビードブレイク作業を行う際、ブレーク(刃先)が勢いよく刺さることで、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーク時の反動も少なく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレークしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-80 SL)を使えば、この作

「現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいきます。大径タイヤのビードブレークを行う際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりますし、タイヤの倒れこみも生じる恐れがあります。」

そして、もうひとつ工夫がなされているのが低速ボタンのこと。ビードブレイク作業を行う際、ブレーク(刃先)が勢いよく刺さることで、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーク時の反動も少なく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレークしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-80 SL)を使えば、この作

「現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいきます。大径タイヤのビードブレークを行う際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりますし、タイヤの倒れこみも生じる恐れがあります。」

そして、もうひとつ工夫がなされているのが低速ボタンのこと。ビードブレイク作業を行う際、ブレーク(刃先)が勢いよく刺さることで、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーク時の反動も少なく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレークしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-80 SL)を使えば、この作

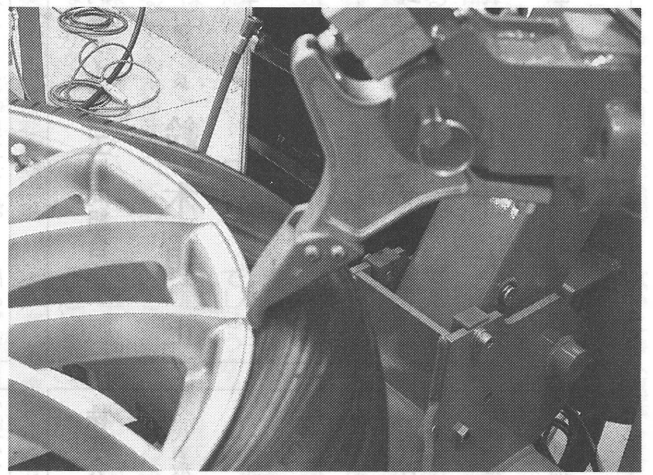
セミオートで快適作業

進行状況を一目で確認

「現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいきます。大径タイヤのビードブレークを行う際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりますし、タイヤの倒れこみも生じる恐れがあります。」

そして、もうひとつ工夫がなされているのが低速ボタンのこと。ビードブレイク作業を行う際、ブレーク(刃先)が勢いよく刺さることで、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーク時の反動も少なく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレークしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-80 SL)を使えば、この作



DTヘッドが自動でビードを引き上げる



進捗が一目でわかるモニター

「現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいきます。大径タイヤのビードブレークを行う際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりますし、タイヤの倒れこみも生じる恐れがあります。」

そして、もうひとつ工夫がなされているのが低速ボタンのこと。ビードブレイク作業を行う際、ブレーク(刃先)が勢いよく刺さることで、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーク時の反動も少なく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレークしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-80 SL)を使えば、この作

4) または各営業所まで。 EXCEED Iota Pro。充実の機能を備えてデビュー。ショールームにて注目の新機種が登場したといえそう。商品問い合わせは同社 (0778-22-2112) 社